

エアコンの効いた屋内にこもっていると、季節の移り変わりに鈍感になります。私たちができえ、だんだん季節の感覚を見失ってしまふことがしばしばです。私たちはこの倶楽部千代田會館の設立当初からご利用者様に季節の変化を肌で感じていただくようと、実際にご利用者様にもご参加いただいで、園芸をお楽しみいただいでいます。毎年、一階フロアの



右がきゅうりで、左がゴーヤです。2 株だけでも、結構面白いようにキュウリが収穫できます。

土とふれあい、心を潤し、実りを夢見ます

手を動かして、巡る季節を肌で感じていただきました。

窓を覆うグリーンカーテンを作成してあります。もちろんこれは日よけのためで、当初からゴーヤなどを植えていました。ひょうたんを植えたこともあり。あれは伸び過ぎて大変でした。このところ三年程はきゅうりを植えています。意外と簡単に収穫する事ができ、実ったキュウリはもいだその場で台所へ直行です。とれたてのキュウリの美味いこと。



育つかどうかはこの次で、田植えそのものを楽しみました。

今年初めての試みとして、バケツで作った田んぼにみなさんと田植えをしていただきました。ご利用者様の中には米どころのご出身でいらっしゃる方もおられ、子供の頃に田植えを手伝われたことを思い出して下さいました。ちなみにバケツ一杯分で収穫できるお米の量は、上手く育てられても茶碗に三分の二くらいにしかならないそうです。



「根っこは一旦切っちゃうんだよ。すぐ生えてくるから」今日ご利用者が先生になります。

千代田會館接遇マイスターとは？

倶楽部千代田會館に来られるご利用者様とスタッフとの関係は一度限りではありません。長くお互いに心を通わせてよい関係を作っていくというところに難しさがあります。ただ単に言葉遣いが丁寧であるとか、介護の技術が優れているとか、それだけではなく、常にご利用者様の立場で考え、それを実際に態度、言葉に示し、何よりも第一に尊敬を守っていく。それを接遇といいます。単なる接客とはちよつと違います。

倶楽部千代田會館では接遇マナーの向上を目指し、今年もスタッフの中から「接遇マイスター」を選出いたしました。先日、スタッフにより投票が行われ、第二回倶楽部千代田會館接遇マイスターが選出されました。誰が選ばれたかは近々館内に掲示する予定ですので、倶楽部千代田會館にお寄りになる際のぜひお楽しみにしてください。簡単そうに見えて実はとても難しいことを当たり前のように実践されている姿は私たちスタッフ全員がお手本にしたいたいです。

今後とも接遇マナーのさらなる向上を目指して続けてまいります。



梅雨と言っても、何だか台風が来たり、しとしと降るよりも派手にざあざあ降ることが今年が多いような気がします。そんな雨の合間をぬって今年も堀之内の妙法寺さんへ花菖蒲とあじさいを見にドライブに行ってみりました。あじさいと一言でいっても種類がいろいろとあり、まるで花火のようにきれいながあじさいや、花びらが縮緬のように丸まっている可愛い形のあじさいなどここはバラエティに富んでいます。このドライブは何日かに分けて行われました。何度もご参加いただけただご利用者様もいらっしやいます。



ご利用を検討されている皆さま

お気軽に下記電話番号までご相談ください。

ご本人さまやご家族さまの見学を随時受け付けております。



東京メトロ丸ノ内線方南支線
中野新橋駅から徒歩1分
木造京町屋風の建物です



倶楽部千代田會館とケアネットのホームページ
<http://www.yayoi-home.com/takinou.php>

集めています

ケアネットでは、引き続き地域貢献活動の一環として、「ペットボトルキャップ回収」を行っております。集まったキャップはワクチン等に交換され途上国の医療等に役立てることが出来ます。地域でご協力いただけましたらお気軽に倶楽部千代田會館までお持ちください。またご家族のかたは送迎のドライバーまたはケアマネにお渡しいただければお預かりします。

小規模多機能ホームとは、地域の高齢者の方がいつまでも顔なじみの地元で、住み慣れた家でお過ごしいただくための様々なサービスをご提供する、高齢者のための施設です。